

アクセス方法
< 電車 >
JR外房線「大原駅」下車すぐ、いすみ鉄道「大原駅」

memo



小さな旅 ホームページ
http://nhk.jp/kotabi

小さな旅

～こころのふるさとにふれる旅～

コブック vol. 45

菜の花列車に夢のせて
～千葉県 いすみ鉄道～

2012年4月日(日)放送



現役を引退した列車は、丘の上で新たな客を迎えています。引退した列車は今、丘の上で新たな客を迎えています。引退した列車は今、丘の上で新たな客を迎えています。引退した列車は今、丘の上で新たな客を迎えています。

現役を引退した車両が並ぶ丘

旅の見どころ 3

千葉県いすみ市・大原駅と大多喜町・上総中野駅の26.8キロを結ぶいすみ鉄道。里山を縫うように走る黄色い列車は、地元の人々に愛され続けている。手作りの駅弁で、鉄道を応援したいと精を出す農家の女性たち。一般公募に申し込み、運転士となった53歳の元会社員は、地元を支えるべく、5月の最終審査を目指す。菜の花が咲きはじめた春、列車にふるさとの夢を託す人々に出会う旅。



昔ながらの田園風景が付近に広がる国吉駅は無人駅ですが、週末には地域の人たちが集まり、観光客に心づくしのもてなしを行っています。焼き立てのお餅は無料。地元のお土産物なども並びます。40年以上農業を営む安藤の二さん(67)は、鉄道を応援したいという思いで、駅の駅弁を考案しました。地元のお米で作った大巻き寿司や野菜の煮物が好評で、常連客もついでいます。駅舎は、旅のひとときの社交場になっています。

地域のおもてなし国吉駅

旅の見どころ 2

旅の見どころ 1

菜の花列車・いすみ鉄道

房総半島の東西に走るいすみ鉄道。千葉県いすみ市・大原駅と大多喜町・上総中野駅の26.8キロ、14の駅を結び、病院へ行くお年寄り、通学する高校生など、地元の人たちの足として親しまれています。三月から四月には、沿線各所で菜の花が咲き乱れ、人々の目を楽しませます。今、いすみ鉄道では、40代から50代の元サラリーマンたちが、運転士の夢を目指して奮闘中。吉井研治さん(53)は、家族に支えられて挑戦を続け、去年秋に運転士の国家試験合格。日々変化する車窓や乗客の表情に、新たな生きがいを感じています。

